

【論文騒動】

「STOP細胞」、研究論文に？

東京・北区にあるス科研(スポーツ科学研究所)の生方晴美チーフ(30)らのグループが、一月に発表した「STOP細胞」についての研究論文に重大な疑いがもたれている。

「STOP細胞」とは、Soft touch operations planning Cell のこと。

損傷した組織の細胞を紅茶かジュースに30分ほど浸すなど微弱な刺激を与えるだけで筋肉や骨の元になる細胞が初期化され、病気やケガで失った運動機能を復活させる働きをもつとされる。

また、『高校野球が大好き』という生方さんが野球のユニフォーム姿で実験する様子などもテレビで紹介されて、親しみを感じさせる人柄と高度な研究内容から将来のノーベル賞候補としても期待されている。

そんな生方さんらが発見した「STOP細胞」の実証論文に、内外の科学者たちから不適切な画像処理や出典不明な無断引用が多数あるとの指摘がされている。

この疑惑に関して、ス科研の調査委員会は関係者への事情聴取の内容として、次のような中間報告を公表した。

- 1) 不適切な画像処理は確認されたが、悪意はなかった。
- 2) 出典不明の無断引用は、いけないこととは知らなかった。
- 3) 「STOP細胞」の存在については、今後の研究にゆだねたい。

一月には、『やめてやると泣き明かした夜も数知れず』と昭和時代の野球部員かと思わせる発言をしていた生方さんだが、この件については今のところ沈黙を守っている。

生方さんは、本当に研究者をやめることになってしまうのだろうか。それとも、自らの力で「STOP細胞」＝夢の若返り技術の証明ができるのか、今後の成り行きが大いに注目されている。 (文責・鈴木)

追記…生方さんの消息について、東京・柴又界隈でバーテンの寅さんとやけ酒をあおっていたとの噂もあるが、実際は、すでに関西の実家へ帰っており、甲子園球場でユニフォーム姿の生方さんを見かけたという目撃情報も寄せられている。